



桃五だより



No.594

(12月号)

2020.12.1

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

協力し合う力を育てる

副校長 日向 須真子

N君はとっても個性的な面を持っている少年です。ただ、少し読み書きが苦手です。

N君の学年は、一つ下の学年に本を読み聞かせすることを決めました。3～4人のグループで、一冊の本を読み聞かせするのです。N君は3人のお友達とグループをつくり、本を読む練習をしていました。20ページくらいの絵本でしたが、細かい字がたくさんある本です。私はN君がこれを読むのは少し難しいだろうなと思いました。1ページ、2ページと友達が読みました。3ページ目、二人目の友達が読みます。4ページ目、最初の友達が読みます。あれ？この班はN君に読ませないのかな？と思っていると、5ページ目、N君がすらすらと読みました。続いて6ページ目もN君は得意そうにすらすらと読みました。どうやら絵が大きくて、比較的文字が少ないページはN君の分担のようです。後で、鉛筆で書かれた子供の字のページの割り振り表を見ると、順番はバラバラでしたが、みんな同じくらいのページ数が割り振られていました。

私が担任に「何か助言したの」と聞くと、「子供たちが自分で考えてページの割り振りをしていました」との返事がありました。

おそらく、同じグループになった友達はN君が本を読むのが苦手なのを知っていて、なるべく文字の少な

いページをN君に割り振り、N君が自信をもって読めるように子供なりに考えて工夫したのでしょう。

いま、「共生社会」と言われています。個性を尊重し協力し合って生活していくことが求められています。

どの子にも得意なこと、上手にできることもあれば、苦手なこと、上手にできないことがあります。子供同士がそれぞれの個性や特徴を知るためには、直接関わり合うことが大切です。学校では様々なグループを意図的に作り共に活動を行わせることで、友達との関わりを広げ理解を深めさせようとしています。

国語・体育・理科・社会など、ほとんどすべての教科において、グループでの対話活動を行っています。意見の違いを受け止め、共通点を見つけ、問題を解決していく力を付けさせるのがねらいです。また、掃除や給食当番や係活動などでも、グループでの話し合いをもとに活動を行わせています。折り合いをつける力や友達と協力する力を育てることをねらっています。

分かり合い、協力し合うようになるまでには時間がかかる場合があります。家庭で子供が愚痴をこぼすこともあると思います。そのような時には、ぜひ、友達との関わりを大切にするように、背中を押していただきたいと思います。これからも学校でたくさんの人と協力し合っていける力、良好な関係を築いていける力をどの子にも付けるために、日々、グループでの対話活動を大切にしたい指導を行っていききたいと思います。

12月の生活指導目標
きれいな学校にしよう

使った物の片付けや、持ち物の整理整頓をしましょう。「学習しよう」と思ったときに、「文具が見当たらない」「机の回りが片付いていない」ということで学習意欲が低下してしまうことがよくあります。ご家庭でも、学習道具の確認や整頓の声掛けをよろしくお願いいたします。

また、身の回りがきれいだと、気持ちよく過ごすことができます。すすんで掃除に取り組み、隅々まできれいな桃五小にしていきましょう。